



笑顔で一人ひとりに声をかける五島さん

**世界に1枚しかない絵を**  
～五島まさを絵画教室：小出小学校～

9月9日、小出小学校で水彩画家の五島まさを氏を講師にした絵画教室が行われました。

3年生から6年生までを対象に行われた同教室は、ことして3年目になります。

晴天の下、学校を飛び出し、伊勢居地の延命地藏尊に向き「地域の良さを全国に発信しよう」と与えられたテーマで、自分の好きな物、好きな風景をそれぞれの視点で描きました。午後からは学校に戻り仕上げをし、みんなで作品の相互評価を行いながら、自分たちの住んでいる地域の風景の素晴らしさを感じている様子でした。

**優雅で可憐な演技に魅了**

～松山バレエ団公演～

文化庁の「本物の舞台芸術体験事業」として10月6日に金浦小学校を会場に、また7日に小出小学校体育館を会場に松山バレエ団の公演が行われ、団員の優雅で可憐な演技に多くの観客が魅了しました。

前半の第1部では、はじめにバレエナたちの日ごろの基本練習を短い作品にしたものが紹介された後、新「白鳥の湖」と「ロミオとジュリエット」が披露されました。

後半の第2部では、「くるみ割り人形」が披露され、フィナーレでは、バレエナたちと一緒に地元の小学生も共演し、多くの観客たちがバレエの美しさと素晴らしさを改めて感じている様子でした。



華麗なバレエを披露する松山バレエ団



◀体験談を語る正樹さん(左)

▼お揃いのハッピーで受賞



**夫婦で仲良く受賞**

～秋田県農林水産大賞～

平成20年度秋田県農林水産大賞の表彰式が9月12日に県庁で行われ、本市の齋藤正樹さん・とし子さん(寺田)が、大賞と農林水産大臣賞を受賞しました。

齋藤さんご夫婦は、戦略作目の小菊やトルコギキョウなどの生産技術の向上と、家族経営協定による明確な部門分担により、安定した複合経営を確立したことなどが評価されての受賞となりました。

正樹さんは、表彰式後のパネルディスカッションでも、パネリストとして参加。女性の農業経営への参画を進め、創意工夫しながら規模拡大を進めてきた実践事例などを語りました。



▲束ねるのが難しい



▶収穫の喜び!

**収穫の喜びを味わう**

～稲刈り体験学習～

9月から10月上旬、市内の各小学校で稲刈り体験学習が行われました。

児童たちは、稲刈りから杭がけまでの作業を教してもらい、そのあと実際の作業に挑戦しました。

始めのうちは、慣れないカマで刈る作業に、ぎこちなさを感じていたようですが、次第にカブを一つひとつ丁寧に刈り取る作業を楽しんでいました。

作業が終わるころには、ちょっと腰が痛いそぶりを見せる児童もいましたが、自分たちで汗をかいて収穫した稲を見て、労働と収穫の喜びを味わっている様子でした。

**夢を追うことを伝える**

～石田ゆうすけ講演会～

7年半をかけて自転車で世界1周した、旅行エッセイストの石田ゆうすけさんによる講演会が、9月25日に象潟中学校で、26日に上浜小学校で行われました。

石田さんの本市への訪問は今回で4回目。以前の講演で石田さんに影響を受け、同じく自転車での世界1周を決意したという生徒との対談も実現しました。

講演では、世界1周のさまざまなエピソードなどが、各国で撮影した写真のスライドとともに語られました。雄大な風景の写真や、初めて聞く珍しい話に子どもたちは目を輝かせていました。石田さんが語る「可能性を信じて夢を追うこと」はしっかり伝わったようでした。



▲自転車持参での講演



▶夢を追う後輩(右)と握手



◀清らかな湧水



▼ブナの巨木に見とれる

**ブナの原生林から学ぶ**

～にかほ市の自然を知る研修～

9月下旬、中島台レクリエーションの森で、特別養護老人ホーム蕉風苑全職員による、にかほ市の自然を知る研修が行われました。環境ISO認証取得など、環境保全への取り組みを進めてきた同施設では、地域の自然に関心を深めるため、ブナの原生林での研修となったものです。

参加した職員は「長い時間をかけて形成されたこの景色、自然が失われることがないように、一人ひとりができることをしたい」「(中島台を初めて訪問して)自分が住んでいる地域なのに知らないことが多い」と感想を語り、環境と郷土に対する意識を新たにしました。